

令和7年度第1回宗像市スポーツ推進審議会 議事録（要旨）

日 時	令和8年2月25日（火）17:55～19:00	
会 場	宗像市役所 201会議室	
出席者	委 員	□石松（欠席） ■市丸 ■牛島 ■河野 ■小原 ■末永 ■西村 ■野口 □村山（欠席）
	事務局	■村山 ■中村 ■水田 ■黒木 ■福本 ■舟津

【開会】

文化スポーツ課係長の中村が司会進行。配布資料の確認。

宗像市スポーツ推進審議会条例（以下、「条例」という）第6条第2号の規定により、委員の半数以上の出席が成立条件。現時点で委員総数9人のうち7人の出席があるため、本日の審議会が成立することを報告。

1 あいさつ

文化スポーツ課長村山より挨拶。

2 自己紹介

委員・市職員が順次自己紹介。

3 会長、副会長の選任

条例第5条に基づき互選により選任。委員による推薦なし。事務局提案で会長に市丸委員、副会長に末永委員を指名。異議なしで承認。

以降の議事は、市丸会長より進行。

4 議事録（議事要旨）署名委員の指名について

議事録の作成方法については、宗像市市民参画、協働及びコミュニティ活動の推進に関する条例施行規則第6条第1項に基づき「会議内容の要点を記録する方法」を採用。議事録署名委員は名簿順により、欠席の石松に代わり牛島・河野を指名し承諾。

5 報告事項

・第3期宗像市スポーツ推進計画の進捗状況について（事務局）

○基本方針1「スポーツで心と体の健康づくり」

- ・運動実施者の増加: 弥生ウォーキングむなかたを3月8日に開催予定。

- ・健康づくり：スポーツサポートセンター事業で介護予防教室に出向いてのインボディ測定、親子リズム体操（月1）を実施。
- ・来年度：継続実施に加え、無関心層等の運動未実施者が民間サービス加入等につながる仕組みを検討・構築。

○基本方針2「誰もが楽しめる環境づくり」

- ・ニーズ上位の種目：バドミントン、ダンス、ヨガ、エアロビクス、ウォーキング。具体化は未了。
- ・障がい者支援：障がい者水泳体験教室を実施。スポーツ推進委員を中心にニュースポーツ普及を推進。
- ・来年度：スポーツ協会・民間と連携しニーズ型プログラムの実施検討、障がい者事業継続・拡充。

○基本方針3「子どもの機会創出」

- ・認定地域クラブ：卓球（河東中）立ち上げ完了。剣道・サッカー・野球は相談段階。
- ・夜間活動支援：移動式照明導入。宗像アカデミッククラブ運営継続。
- ・トップアスリート交流：（株）グローバルアリーナと連携し海外チームと市内高校生との交流を実施。プリンセス駅伝出場チームと連携し小学校での陸上体験教室を実施。
- ・来年度：部活動廃止後の受け皿づくり継続、トップアスリートとの交流事業継続。

○基本方針4「基盤体制の整備」

- ・単位協会の活動支援：スポーツ協会と連携し補助金交付。
- ・スポーツ施設の管理：市民体育館、武道場、玄海B&G、アクアドームで躯体健全度調査を実施。市民体育館はキュービクル更新、空調設置の実設計実施。
- ・情報発信と観戦促進：プリンセス駅伝の広報（広報誌・SNS・チラシ・新聞折込み・動画）。ワールドラグビーユースの案内も実施。
- ・来年度：令和6年度に実施した利用実態等の総合調査と今回の躯体調査の結果を踏まえ施設の在り方を決定。市民体育館のキュービクル更新、空調設置工事を予定通り完了へ。情報発信継続。

○基本方針5「効果的な情報発信」

- ・情報発信の定着：広報紙の特集月間は基準上不可、イベント単位での発信は実施。HPで詳細案内。
- ・サイト整備：掲載ページ毎の見直しのみで全体整理は未実施。
- ・来年度：多様媒体での情報発信強化、サイト基盤を整理し利便性向上。

○基本方針6「地域資源を活用したスポーツ観光等」

- ・海洋性スポーツ体験：5～9月に市内小学校12校対象で実施。
- ・民間施設活用：グローバルアリーナで宗像キッズセブンを実施。セカンドスクールの実施にあたり減免制度活用によるグローバルアリーナの利用促進に寄与。全世代型教室をGA・リ

バティ体操クラブ・東海大福岡高校で開催。

- ・来年度：民間施設の活用を継続し、効果的に事業を実施。海洋性スポーツ体験事業継続実施（勝浦浜海洋スポーツセンター）。

○論点・意見

- ・「幅広くスポーツを広げるには、5年後の目標値をより高く設定すべき」との意見。

→毎年の進捗管理の中で達成状況を見ながら更新も検討する意向。ただし現計画期間中は計画の目標値は変更せず、5年後（令和11年末時点）の評価で次期計画に反映。

- ・アクアドームの施設区分と今後の施設のあり方の方針決定に関する見通しについて

→アクアドームの施設区分について：アクアドームは宗像ユリックス内の文化施設の一部だがスポーツ利用もあり解釈が揺れる。現行の調査・検討では「スポーツ施設」として扱い。明確な分離の可否、区分決定主体、指定管理枠組みなどの複雑さを共有。条例改正の可能性を含め、今後のあり方検討結果次第で分離等も議論し得ることを確認。

施設のあり方の方針決定について：令和6年度は市内スポーツ施設（アクアドーム含む）の利用実態・老朽度・需要を調査。令和7年度は市内3体育館等の躯体老朽化状況を調査。令和8年度にこれらの結果を踏まえ施設の今後のあり方（アクアドーム含む）を決定予定。

6 その他

- ・第3期宗像市スポーツ推進計画の進捗管理の見直し（事務局）

現行の管理シートは指標ベースとなっており新規施策や取り組みの変更等が評価しにくい構成になっているため、今後は資料2のように様式を変更し、基本方針に対する取り組みを評価できる構成にして進行管理を行っていきたい。これまでの管理シートと併用して管理していく。

○論点・意見

- ・「【資料2】①と②の指標が同一に見える」との意見。

→データソースの違い（毎年実施する市民アンケートと文化スポーツ課が次期計画に向けて実施するアンケート）。違いがわかるよう整理する。

→対象者をどちらも無作為抽出にするのではなく、文化スポーツ課のアンケートは前回と同一の対象者に実施することで縦軸を追うという視点も効果的だと考えられる。

→同一対象者への再送は可能だが、死亡や回答率差などの課題がありつつ、次期計画に活かす意義はある。

- ・猛暑対策として学校体育施設の空調を地域スポーツに活用する提案

→昨年の夏より学校開放事業での空調利用が開始。今年は更に暑くなる見込みも踏まえ、学校側と連携して利用促進の働きかけを行う。

- ・次回は1年後を予定（事務局）

7 閉会

市丸会長より閉会の挨拶。

令和8年 3月23日

署名 牛島 昌哉

署名 河野 和道